

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校	記載者	山崎 裕子
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
全 1	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた学力の向上 キャリア教育の充実による進路意識の醸成と進路実現の支援	①「各教科における単元の目標や評価基準等が明確」生徒 85% ②「授業は分かりやすく、教え方に工夫がある」生徒 85% ③「授業で、生徒による主体的な活動を促す工夫をしている」教員 70% ④「他教員の授業を見学したり、情報交換等を通じて授業改善を行った」教員 80% ⑤「到達度テストにおける各教科の正解率」65% ⑥「学習支援システム等を活用し、適切な課題の配信や学習習慣確立への助言を行った」教員 70% ⑦「大学入学共通テストの各教科平均得点率」50% ⑧「未来創造プロジェクトや特別活動は自己の在り方や生き方を主体的に考え、将来の展望を深める機会となる」生徒 70%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者数が公立学校の魅力の1つであるので頑張してほしい。 ・進学就職問わず基礎力が重要なので到達度テストの結果は、重要視する指標であると思う。 ・学習支援システムを上手く活用して成果目標を達成してほしいが、本質はシステム機能の習得よりも生徒の学習習慣確立にあることを忘れないでほしい。 ・目標達成状況から、学校側の熱心な取り組み状況が窺える。

		<p>⑨「第3学年6月までに未来創造企画書が完成」生徒100%</p> <p>⑩「進路に関する情報提供・指導助言は適切である」生徒80%、保護者70%</p> <p>⑪「自己の目標に向けた努力・挑戦を継続している」生徒85%</p>			
全2	イ 探究的な学びの組織的な検討、及び具体的な実践プログラムの構築	<p>①「探究活動プログラムの実践・改善・開発を継続」</p> <p>②「未来創造プロジェクト（総合的な探究の時間）」を通じて、課題発見力と解決能力が向上した」生徒85%</p> <p>③「課題発見や課題解決を取り入れた活動を行った」教員80%</p>	A	A	<p>・教育課程の変更により3年間を見通した探究活動の実践になっていることは高く評価できる。</p> <p>・NPO団体を使い、探究活動プログラムを実践できたことは素晴らしい。各学年での成果を確認し、次年度につなげてほしい。</p>
全3	ウ 質の高い教育活動の展開による、生徒の精神的成長と文化的素養の育成	<p>①「学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいる」生徒・保護者90%</p> <p>②「個人や部活動・委員会を通じて、地域行事やボランティア、国内外研修に1回以上参加した」生徒70%</p> <p>③「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」生徒80%</p> <p>④「1か月に1冊以上本を読む」生徒70%</p> <p>⑤「学習と部活動の両立ができている」生徒80%</p>	B	B	<p>・読書の習慣の評価が低いようなので、読書週間などを決めたり、読書感想発表会やオススメの本の紹介を掲示するなどをやってみても良いかもしれない。</p> <p>・広報・発信を拡大する必要があると思う。</p> <p>・部活動での地域貢献活動はできているが、個人での貢献活動や校外研修をどう促進するかがカギ。興味関心のあることを追求していく主体性を育てることが重要である。</p>

		⑥「地域貢献活動等に参加した部活動」100%			
全 4	エ 安全・安心な教育環境の整備と、社会情勢に応じた生徒指導の充実による、自己肯定感・自立心・社会性の向上	<p>①「進んで気持ちの良い挨拶をしている」生徒 80%</p> <p>②「ルールやマナーの意義について考え、主体的に行動できた」生徒 80%</p> <p>③「相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある」</p> <p>④「人権や情報モラルの講座・授業を通じて、人権意識が向上した」生徒 80%</p> <p>⑤「受診が必要な生徒の治療率」85%</p> <p>⑥「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる言葉をかけてくれる」生徒 90%</p> <p>⑦「校内に、悩みや不安を話せる人や機会・場所がある」生徒 80%</p> <p>⑧「学校内外の整備・美化は行き届いていると答える」生徒・保護者 85%</p> <p>⑨「地震や暴風警報時の登校基準・行動を把握している」生徒・保護者 80%</p>	A	A	<p>・浜名高校の生徒の挨拶は気持ち良いし、礼儀正しいと思う。</p> <p>・生徒の悩みに対処できていて評価できる。年々悩み事や問題を抱える生徒が増えているため、教育相談室（SC）に頼る前に、教員の対応スキル向上も必要になるかもしれない。</p> <p>・トイレの清掃不備が指摘とあるが他校では外部業者に依頼しているケースがあるので検討材料の1つに入れるのが良いと思う。</p>

<p>全 5</p>	<p>オ 地域との連携強化と広報活動の充実による、地域に開かれた学校運営の推進</p>	<p>①「生徒目線を取り入れた「学校紹介動画」の作成」 ②「ホームページの毎日更新」 ③「体験入学や広報誌等が高校選びの参考になった」来校者 95% ④「部活動や個人活動を通じて地域行事等に参加した」（再掲）100%</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>・学校紹介動画や1日体験入学は、学校生活がイメージしやすく、広報に有効だと思うので、ぜひ継続していただきたい。</p> <p>・地域社会貢献活動や自己研鑽は、どう内発的動機づけを高めていくかが大事だと思う。</p>
<p>全 6</p>	<p>カ 教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による活力ある運営体制の確立</p>	<p>①「生徒がおおむね 19:30 には下校している」 ②「すべての教職員がおおむね 20:00 までに退勤する」 ③「おおむね週 1 回は定時に退勤できた」教職員 80% ④「適切な情報共有が図られている」 ⑤「分掌の業務を「無くす・減らす・変える」の視点で見直す機会を年 2 回以上設ける」 ⑥「業務の負担感・多忙感が改善された」教職員 50% ⑦「次年度の事務業務集中化を見据え、事務職員の校務運営参画を具体化する」 ⑧校務運営に具体的に参画したと答える事務職員 100%</p>	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>・教員の厳しい現状が窺える。対策に即効性がないようであれば、メンタルヘルスケアに関する取り組みが行われているか気になる。</p> <p>・退勤時間について外部の有識者の意見を聞いて検討する。当事者だけでは解決しづらいものである。</p>

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
定1	ア 授業改善や学習支援の取り組みを通じた生徒の基礎学力の定着	①「授業の内容・説明がわかりやすい」と答える生徒90%以上。 ②「授業を通して新しい知識が身に付いた」と答える生徒90%以上。 ③「授業を通じて社会への関心が高まった」と答える生徒90%以上 ④「授業に意欲を持って取り組んでいる」と答える生徒90%以上。 ⑤「授業に工夫がある」と答える生徒80%以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・分かる授業を提供するための教員の努力は評価できるし、生徒が成果に満足できていることも素晴らしい。数値結果から活気のある授業が展開できていることが想像できる。 ・唯一目標未達だった「授業を通じて社会への関心が高まった」項目は、次年度以降で社会課題と学習内容をつなげる取り組みに期待したい。 ・学校側の様々な取り組みや工夫がしっかり生徒に伝わり、高い評価を得ているところが素晴らしい。
定2	イ 効果的・系統的な進路指導体制の構築による生徒の社会参画につながる進路意識の高揚	①卒業年次の夏までに体験入学や職場見学に参加した生徒90%以上。 ②卒業時に進路が決定している生徒90%以上。 ③検定合格者及び資格取得者数延べ50人以上。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の将来のために資格取得ができる策を講じてほしい。 ・商工会議所との連携など、生徒が体験や見学できる環境を整えていただきありがたい。 ・主体的に希望する企業を探す生徒がいる一方で、様々な事情により正規就労まで至らないケースもあることは理解できた。それでも、引き続き生徒の状況に合わせて、地域の支援機関を活用するなどを活用して、就労できる状況を目指してほしい。 ・検定試験料の値上げよりも、将来的に使える資格であることを訴求するしかないと思う。他の高校でも同じような悩みなどを抱える可能性があるので、情報共有した方がよい。 ・サポステとしては今年度、SST や面接練習で訪問しているが、個別相談のニーズがあれば教えていただきたい。 ・細かく進路状況、進路希望を見てみたい。

<p>定 3</p>	<p>ウ 丁寧な指導と支援体制の充実による生徒の基本的な生活習慣の確立</p>	<p>①「生徒情報の共有を指導に活かすことができた」と答える教職員 100% ②「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」と答える生徒 90%以上。 ③生徒の交通事故及び問題行動が年間 10 件以内。 ④生徒の出席率 93%以上、遅刻率及び早退率各 7%以下。</p>	<p>B</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悩みを言える場がないと学校評価にはつながらないと思う。 ・先生方が一丸となって生徒を指導している姿が想像でき、素晴らしい。 ・自分から話をしてくれない生徒への具体的な働きかけが重要なので、生徒把握を徹底することと、どう相談室につなげるかを考える必要がある。 ④1年生が簡単に休んでしまう雰囲気とはどんな雰囲気か知りたい。そこから改善策を見出す必要がある。 ・校内では話せないが、校外なら話せる生徒もいる。校外の相談機関の情報提供も方法の 1 つだと思う。 ・通学時の事故防止に努めてもらっている。
<p>定 4</p>	<p>エ 生徒の新たな体験や学校生活の充実につながる質の高い学校行事や特別活動等の展開</p>	<p>①「学校行事が充実していて楽しい」と答える生徒・保護者 90%以上。 ②外部講師等による研修会等の開催 10 回以上。 ③「自分には良いところがある」と答える生徒 85%以上、「クラスメイトの考え理解し、受け止めることができた」と答える生徒 85%以上。 ④部活動の大会出場や発表会等の対外行事に参加する生徒延べ 30 人以上。</p>	<p>A</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通して生徒の自己肯定感を高めてほしいと思います。 ・外国にルーツを持つ生徒と消極的な生徒をどう結び付けるのかがポイントかもしれない。 ・外部講師等による研修会を 25 回開催は素晴らしい。その中で、生徒の意識や行動が変わったなど、実施して良かったものを教えてほしい。 ・年々自己肯定感の低い生徒が増えており、そういう生徒ほど他者への気遣いができるケースが多い。どうしたら自己肯定感を高められるか、自分自身を客観的に見つめられる仕掛けを考えるといいかもしれない。 ・自分の短所はたくさん思いつくが、長所が全く思いつかない若者は多い。学校生活の中で、長所も見つけられる機会をたくさん作っていただきたい。
<p>定 5</p>	<p>オ 広報の充実等による本校及び定時制の教育活動の周知</p>	<p>①「学校案内」の刷新、ホームページの週 2 回以上の更新。 ②学校説明会等で「浜名高校のことが分かった」と答える来校者 95%以上。</p>	<p>C</p>	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPのシステム変更による影響はやむを得ないかと思う。 ・学校の教育活動の様子がわかるが 90%以上なら、評価はBでも良いのではないかと思う。 ・HP更新度合を全日制とある程度合わせる必要を感じる。 ・重点目標であったが、評価はCなので、客観的に原因分析をする必要がある。HPの更新回数ではなく、伝えたいことが確実に伝わるために、どんなタイミングで何を更新するかだと思

		<p>③「学校の教育活動の様子がわかる」と答える保護者90%以上。</p>		<p>う。C-Learning を活用した発信にも期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制のように、生徒目線の紹介動画などを載せると、イメージが伝わりやすいと感じた。 ・ホームページの更新を徹底について私自身も会社で悩みの1つでした。更新を増やす=仕事が増える=残業になる、悪循環になりうるものです。
<p>定 6</p>	<p>カ 生徒・教職員が安全・安心に教育活動を展開するための教育環境の整備</p>	<p>①「学校内外の整備・美化は行き届いている」と答える生徒・保護者90%以上。 ②浜名高校に入学してよかった」と答える生徒90%以上、「入学させてよかった」と答える保護者90%以上。 ③地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握していると答える生徒80%以上。</p>	<p>A</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者とも生徒に寄り添った指導体制が浜名高校（定時制）にあると評価しており、評価できます。 ・様々な背景を持つ生徒が「良かった」と思える経験を積むことは、今後の人生の糧になると思うので、ぜひ今後も生徒に寄り添った支援を継続していただきたい。